

とちぎ夢大地応援団（11月20日実施）

～日光市文挾地区「ため池及びその周辺の環境整備活動」～

日光市の南東部、日光例幣使街道沿い文挾地区において、11月20日、「文挾ため池ふれあいの里づくり協議会」が主催する、夢大地応援団活動が行われました。文挾地区はのどかな田園と新興住宅街が混在していますが、その一角にため池があり、260種類もの貴重な植物や生き物が生息し、市の公園として整備されています。

この公園を地域ぐるみで保全しようと、地元住民らが「文挾ため池ふれあいの里づくり協議会」を組織し、活動を展開しています。当協議会が夢大地応援団活動に取り組んで今年で5年目になります。当日はNPO法人ナルクとちぎを始め、国際情報専門学校、県内各地の応援団員など27名が駆けつけました。また県などの関係指導機関のほか、地元協議会、自治会、氏子会らが加わり、総勢86名の参加がありました。

作業は午前9時から始まり、ため池にたまった泥の除去、周辺の草刈りなどを行いました。特に、泥の除去は例年のことながら大変な作業で、水中でのスコップによる泥さらい、手製の舟を使ったロープによる運搬、泥の下ろし作業など、10数人がこの作業に従事しました。なお、当初予定していた菜の花の種まきは、昨日の大雨により休耕田での作業が出来なくなったため、急きょ水田に接する法面の草刈りを行いました。

昼食時には、地元婦人会の皆さんが調理したおむすびと豚汁が振る舞われ、また郷土史家である藤井さんの杉並木についての講話がありました。その後、参加者と地元協議会員との交流会が行われ、親睦を深めました。国際情報専門学校から参加した学生（女性）は、「警察官を目指して勉強している。この貴重な経験を将来に生かしたい」と、熱く語ってくれました。





朝もやに包まれたため池



8時から受付開始



今野会長あいさつ



各地から駆けつけた参加者



役員紹介と作業内容の説明



参加者代表(ナルク鈴木さん)あいさつ



ため池周辺の草刈り



草刈りと清掃



ため池の泥さらいと運搬に奮闘



水がたまった休耕田



土手から少しだけ種まき



菜の花の種まきは中止に



水田畦畔の除草、法面の草刈りを実施



楽しい食事タイム



専門学校学生の感想発表



郷土史家藤井さんの講話



参加者と交流



食事を用意してくれた婦人部の皆さん



来年もまた、文挾で会いましょう